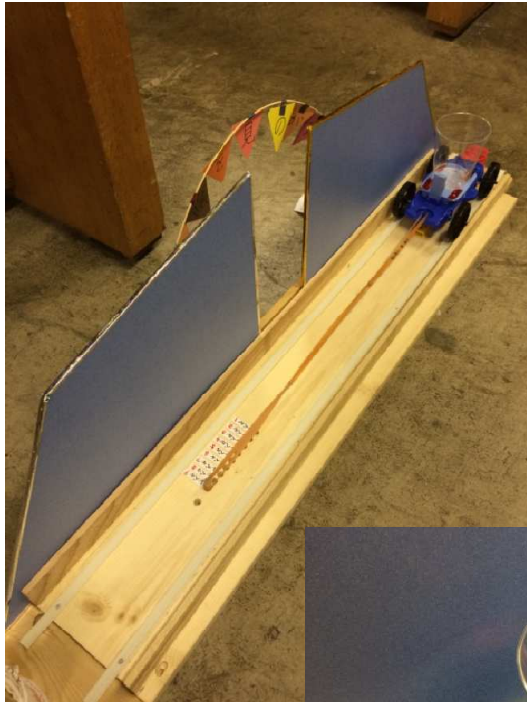


科学工夫作品(工作)のヒント①

理科の「しくみ」を生かそう!



こちらは、3年生で学ぶ
「ゴムのはたらき」の学習で使った車。
学校から持ち帰ってきた教材を使い
一瞬で動いてくるものを見る
動体視力ゲームを作りました。

学校で学んだことをうまく生かして、
楽しいものを作ろう!

科学工夫作品（工作）のヒント②

+ α （プラスアルファ）で、もっと楽しく！



ペットボトルに水を入れ、強くにぎると、中に入っている「うき」がしずんでいく浮沈子（ふちんし）というもの。浮沈子を使った作品はたくさん見られますが、そこに「星をつる」というゲーム性をつけくわえ、より楽しい工作に仕上げました。つれる星の数がバラバラになっているところも、ゲームの楽しさを高めるポイント。

今まであるものに、+ α をして、他にはない作品を作ろう！



←動画で見られます。

http://rikainba.com/movie/sakuhinten_hint_hoshi.mp4

科学工夫作品(工作)のヒント③

見た目は大事!



「やじろベエのつり合い」

「風船ジェット」

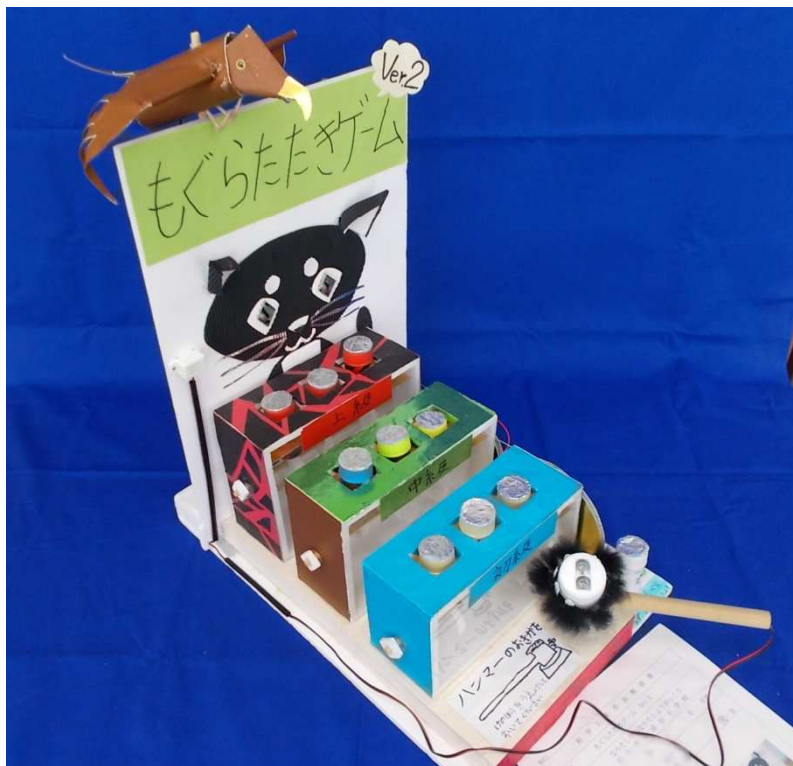
理科のしくみとしてはとても単純なもの。でも、地球やスペースシャトルなど、見た目のダイナミックさにこだわって作ったことにより、作品展でも特に来場者の目を引く作品になりました。

仕組みはシンプルでも、見た目にこだわれば、その魅力は何倍にもアップ!

部屋の天井からかざったら
楽しいだろうなあ・・・

科学工夫作品(工作)のヒント④

「ちゃんと動く」。当たり前のように、むずかしい。



こちらはもぐらたたきゲーム。
たった1個のモーターで
全てのもぐらを同時に動かしています。
もぐらがきちんと動くように、プーリーとカム
のしかけを細かく調整して、作品を仕
上げました。

「だれがやってもちゃんと動く」
当たり前のように、完成度の高さは
大きなポイント。
むずかしい所は、おうちの人にも
手伝ってもらおう。



←動画で見られます。

http://rikainba.com/movie/sakuhinten_hint_mogura.mp4

科学工夫作品（工作）のヒント⑤

生活を豊かにする便利グッズ。



小学校では楽しいおもちゃが
多いのに対し、中学校では
「科学で生活を豊かにする」
という観点での作品がよく見られます。
こちらは手の力の弱い人でも缶詰のふ
たを開けられるよう、回転の力を使って開
けられるようにした便利グッズ。

生活の中の「ちょっとした不便」の中に、
ヒントがかくれているかもしれませんね。



←動画で見られます。

http://rikainba.com/movie/sakuhinten_hint_opener.mp4

科学工夫作品（工作）の注意すること。

①キャラクター類は使ってはいけません。

テレビや本で見るキャラクターには、著作権（ちよさくけん）というものがあり、勝手に使ってはいけないルールがあります。どんなに好きでも、作品の中にキャラクターの絵・写真を使うのはやめましょう。（手描きの絵でも×）
また、材料に使ったお菓子のあき箱に、キャラクターが印刷されているために審査から外れるといったケースもありますので注意しましょう。

②全国の作品展では、大きさ・重さのルールがあります。

大きさ→たて・よこ・高さ それぞれ1m以内

重さ→20kg以内

これを超えると全国の作品展に出品できません。

（県作品展までとなります）